

平成30年度 四極青雲会 活動報告

第8回 四極青雲会総会・ 記念講演および懇親会

開催要領 平成30年5月12日

(土) 大分センチュリーホテル
2階「桜の間」にて午後5時30分
から総会。午後6時から記念講演、講師は広瀬勝貞氏(大分県知事)、演題は「県政に思うこと」、講演終了後午後7時から懇親会。

総会 1. 平成29年度活動報告および30年度活動方針(案) 2. 平成29年度決算および30年度予算(案) 3. 平成30年度活動方針(案)、以上3案件が一括審議され事務局からの提案とあわせて承認された。

・平成29年度活動報告 ①平成29年5月13日(土)第7回四極青雲会総会・記念講演および懇親会を開催。姫野清高氏(大分商工会議所会頭)に依る記念講演「大分県経済の現状と課題」。②平成29年8月26日(土)第13回四極青雲会定例会を「イノベータータイプ経済セミナー」として大学と共同開催。講演は四極会の土

谷晴美氏(大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局長)

「文化振興策について」。③平成29年11月、平成30年1月にかけての研究科の課題研究のサポート④30年1月27日(土)第14回四極青雲会定例会を「イノベータータイプ経済セミナー」として大学と共同開催。講演は渡邊博子氏(大分大学経済学部教授)「大分のモノづくりとイノベーション」。

⑤平成30年3月下旬に会報「青雲」第七号発刊。2. 平成29年度決算および30年度予算(案) 3. 平成30年度活動方針(案) ①総会/年1回(4~5月中) ②定例会/年2回 ③会報発行/年1回(第八号) ④講演会・シンポジウム・小旅行・ゴルフ会など会員の要望にそって企画する。事務局からの提案①会員名簿の整理と拡充(特に外国籍の同窓生)。②財政の安定化(入会金・年会費の納入率

の向上)。③大学院入学希望者の発掘と勧誘④四極会活動への協力(母校100周年記念事業と四極会各支部開催のイベント)

記念講演・懇親会

県知事のご講演ということも多くの方々にお集まりいただいた。経済学部長・大学院委員長を含めて大学から8名、石川会長、相良名誉会長、支部・職域の代表者はじめ四極会から56名、青雲会62名、一般の経済人8名で総勢134名。実に盛大に開催できましたのも、記念講演をご快諾して戴きました知事のおかげと感謝しています。懇親会にも時間の許す限りご同席を賜り誠にありがとうございました。講演内容につきましてには下記の記念講演要旨をご覧ください。120名の方々が懇親会に出席なされました。テーブル毎に大変な盛り上がりのご様子で、事務局としても嬉しく存じました。ご来賓として南九州税理士会大分県連合会会長の若杉裕二氏にお越しいただきご挨拶を頂戴しました。若杉先生はじめ南九州税理士会大分県連合会のお世話役の方々には、母校の会計学の寄付講座の継続にご尽力いただき大変有難く、記して御礼申し上げます。

(事務局 記)

記念公演

講師 広瀬 勝貞氏(大分県知事)

演題 「県政に思うこと」

講師プロフィール

1942年大分県日田市生まれ。1996年通商産業省(現在の経済産業省)入省、76年スペイン日本大使館一等書記官、91年内閣総理大臣秘書官を務め、94年通商省貿易局長、97年機械情報産業局長を経て、99年に通産省事務次官に就任。その後、省庁再編で通産省が経済産業省に変わり、経済産業省の初代事務次官。

記念講演の要旨

県民中心の県政が基本。知事ではなく県民に顔を向け、ルールが時代に合わないのであれば見直す手間を惜しむなど、職員に伝えていく。グローバルゼーション、少子高齢化など、変化の激しい時代。政策的な課題に対して答えを出し、成果をあげることが大事。

明治維新から150年目の本年1月、大分大学で開催されたエンジン01(ゼロワン)で、歴史学者の磯田道史氏から「明治維新の改革に芽をつけて水をやり、花を咲かせたのは、実は大分の人達」と伺った。

江戸時代は豊後の三賢以外に

『冥加訓』で平等の思想を説いた関一楽『ターヘル・アナトミア』を翻訳した前野良沢、日食を的中させた麻田剛立、稲の害虫駆除等を普及させた大蔵永常を輩出。

あらためて、先人の存在を自覚し、政策で勝負する政策県庁を念頭に置く。例えば、子育て満足度日本一、農林水産業の構造改革、創業支援の充実、戦略的な企業誘致などにより、大分県版地方創生を実現させたい。

(事務局 記)

